

資料2-1

天神川水害タイムラインについて

天神川水害タイムライン検討会における成果について

- 天神川水害タイムライン検討会では、災害時の関係機関の行動を整理したタイムラインの<u>①詳細版</u>、<u>②総括</u>版、③概要版を作成しました。
- また、円滑なタイムラインの運用を支援するために、<u>④支援ツール</u>として、<u>運用支援ツール(Excel試行</u>版)、天神川水害タイムラインに関する災害情報図、⑤運用方法を作成しました。

①詳細版:担当者が詳細な対応を確認できるように、各機関・部署毎に時系列で行動項目(第2階層)を達成するための行動 手順・内容(第3階層)まで整理したタイムライン(防災計画 等の既存計画を基に整理)



③概要版: 天神川水害タイムラインの全体像を把握するために 行動目的(第1階層)別に各レベルで実施する行動項目を1枚 で整理したタイムライン



②総括版:班長等が俯瞰的に作業の漏れがないかを確認できるように、行動項目(第2階層)を整理したタイムライン<u>(総括版</u>では短時間でも実施すべき内容が最低限チェックできる)



④支援ツール:タイムラインの円滑な運用を支援するために関連情報を収集できる運用支援ツール(Excel試行版)や位置情報共有や災害リスク把握のための図面を作成



⑤運用方法: 天神 川水害タイムラインの運用方法を整理した資料を作成



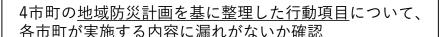
運用方法

天神川水害タイムラインの作成経緯

● ヒアリング意見を踏まえて、4市町の地域防災計画を軸にしたタイムライン案と関係機関の皆様に確認していただいたタイムライン案より天神川水害タイムライン案を作成した。

4市町へのヒアリング実施

● <u>「地域防災計画は常に更新しており、地域防災計画を軸</u> にして行動確認ができるタイムラインとしたい」 等





関係機関へのヒアリング実施

●<u>「日野川水害タイムラインが公表済みであり、これを既存計</u> 画として検討してほしい」「鳥取県内のタイムラインでは、 行動内容を整合させたい」等



鳥取県内のタイムラインの整合を考慮し、<u>「日野川水害タイムライン」を基に整理した行動項目</u>の確認



天神川水害タイムライン案の作成

①天神川水害タイムライン詳細版作成方法(4市町)

■ 「<u>地域防災計画を軸</u>にして行動確認ができるタイムラインとしたい、市町では班(避難支援や水防対応等)に分かれて行動を行うため、<u>行動は目的別に整理されている方がわかりやすい</u>」等の意見を踏まえ、地域防災計画を基に、14の「行動目的(第1階層)」を設定し、これを達成するための「行動項目(第2階層)」と「行動手段(第3階層)」を設定した。

●第1階層(行動目的):「逃げ遅れゼロ」「社会的被害軽減」を達成するために天神川水害タイムラインで実施すべき行動目的

● 第2階層(行動項目):行動目的を達成するために実施する行動項目(班長等が行動が漏れていないか確認できるレベルの項目)

●第3階層(行動手段):行動項目を達成するために実施する行動手段(担当者が行動手段を確認できるレベルの項目)

市町地域防災計画

行動項目(第1階層)

タイムラインの階層

第3編 災害応急対策計画 第1章 組織計画

----第2章 配備及び動員計画

第3章 情報収集伝達計画

第4章 災害広報·広聴計画

第5章 避難計画

第6章 指定緊急避難場所、 指定避難所の設置運営計画

第32章 要配慮者の支援計画

第7章 消防等活動計画

第11章 水防計画

第27章 交通確保対策計画

第34章 電力施設応急対策計画

第37章 水道施設応急対策計画

第38章 下水道施設応急対策計画

第39章 電信電話施設等応急 対策計画

①組織体制

②配備及び動員

③情報収集伝達

④災害広報·広聴

⑤避難支援

⑥避難所開設·運営

⑩要配慮者支援

⑦消防等活動(救助)

⑧水防活動

⑨交通確保対策

⑪電力施設応急対策

⑫水道施設応急対策

13下水道施設応急対策

14電信電話施設等応急

対策

行動目的(第1階層)	行動項目(第2階層)	行動手段(第3階層)
避難支援	避難準備・高齢者等避難開始の発令	情報収集
		避難準備・高齢者等避難開始の発令
	避難準備・高齢者等避難開始の伝達	伝達文の作成
		発令対象地区の代表に電話連絡
		広報車による広報の実施
		県・消防局・警察・放送機関への伝達

実施すべき行動目的

班長等が行動が漏れていないか確認で きるレベルの項目

担当者が第2階層の行動を達成するための手段等をチェックできるレベルの項目

→地域防災計画から項目を抽出

第5章 避難計画 ⇒第1階層(行動目的)

この計画は、災害時において避難勧告等を的確に発出することにより、危険区域内の住民を適切に避 難させ、人的被害を最小限に抑えることを目的とします。

第3節 避難勧告等の発令及び伝達方法

5 避難勧告等の伝達

市対策本部は、避難勧告等を発令した場合は、次のとおり住民へ情報伝達を行うものとします。

- (1)本部事務局は、「資料編 避難勧告等の伝達文の例(資料3-5-2)」を参考にして伝達文を作成セ、 防災行政無線、メール、ホームページ等により住民への伝達を行うとともに、必要に応じて、消防 部に広報を要請するものとします。
- (2)本部事務局は、避難勧告等を発令した避難対象地区の自主防災組織等の代表者に対し、電話等により避難勧告等の発令内容を伝達するものとします。
- (3)消防部は、総務班が作成した伝達文に基づき、広報車(消防団所有の消防車等)による広報を実施し、住民への伝達を行うものとします。
- (4)本部事務局は、次に掲げる機関に避難勧告等の情報を提供し、住民に避難情報を伝達するよう依頼するものとします。

節や項目等から目的を達成するため ▶の行動項目として<u>第2階層</u>を抽出 例:避難勧告等の伝達

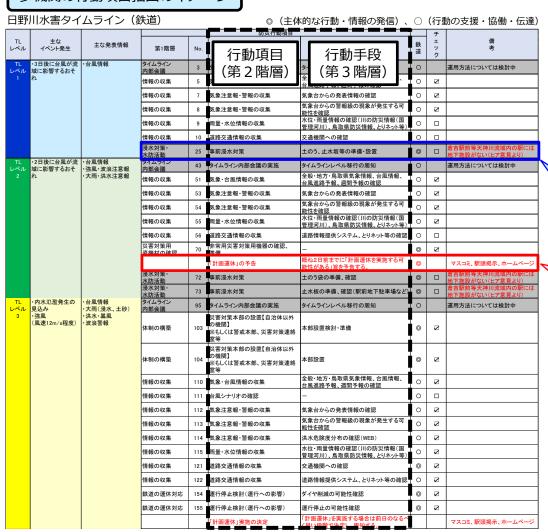
第2階層を達成するための手段として 第3階層を抽出

例:伝達文の作成、広報車による広報 等

①天神川水害タイムライン詳細版作成方法(4市町以外の関係機関)

■4市町以外の関係機関の多くは、先行して作成されている日野川水害タイムラインの構成機関と共通であるため、日野川水害タイムラインをベースに「行動項目(第2階層)」と「行動手段(第3階層)」を関係機関に確認していただき、天神川を対象とした場合の「追加となる項目」や「対象外となる項目」も整理した。

多機関の行動項目抽出のイメージ



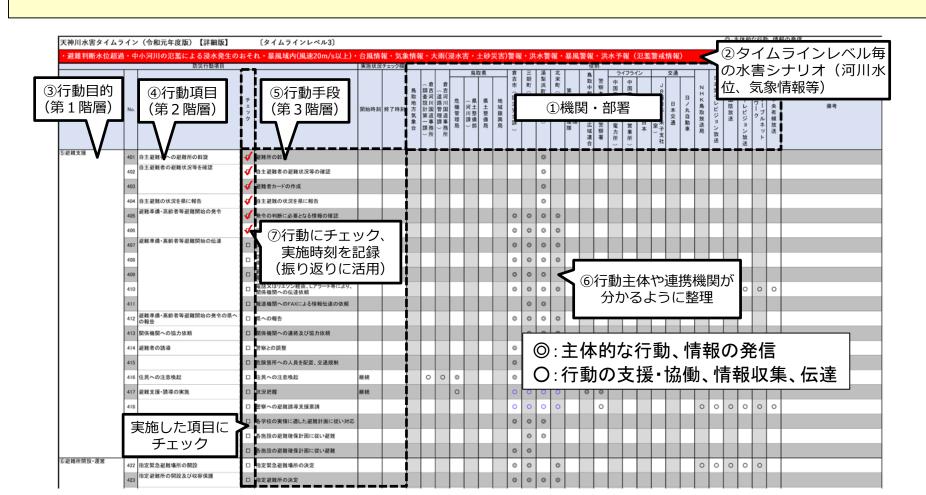
天神川で<u>対象外</u>と なる項目(削除)

チェックしていただいた項目 を天神川水害タイムラインの 行動項目として整理

天神川で<u>追加</u>と なる項目

①天神川水害タイムライン詳細版

- 天神川水害タイムライン詳細版は、担当者が詳細な対応を確認できるように、①各機関・部署毎に②タイム ラインレベル毎の水害シナリオをイメージして実施する③行動目的(第1階層)から④行動項目(第2階 層)、⑤行動手段(第3階層)までを、⑥行動主体や連携機関がわかるように整理したタイムラインである。
- 災害時には、⑦自機関が実施する行動を詳細にチェックでき、災害時の対応の振り返りにも活用できる。
- <u>既存の防災計画が一覧となっている</u>ため、<u>平常時には、引継ぎや災害対応の経験が浅い若い担当者の確認に</u> <u>も活用</u>することができます。



②天神川水害タイムライン総括版 作成方法

■ 「詳細版で班長等の責任者が災害時の対応状況を俯瞰的に確認することは難しく、俯瞰的に確認できるものがあるとよい」との意見を踏まえ、行動の漏れがないかを班長等が俯瞰的に確認するために、詳細版に記載されている項目のうち、①②(主体的な行動、情報の発信)となっている行動項目(第2階層)を、②行動目的(第1階層)ごとに抽出した。





【第1階層(行動目的)】

1:組織体制

②:配備及び動員

3:情報収集伝達

④:災害広報・広聴

6: 避難支援

6:避難所開設・運営

7:消防等活動(救助)

❸:水防活動

9:交通確保対策

●:要配慮者支援

①:電力施設応急対策 ②:水道施設応急対策

13:下水道施設応急対策

4: 電信電話施設等応急対策

②天神川水害タイムライン総括版

- 天神川水害タイムライン総括版は、班長等が俯瞰的に行動の漏れがないかを確認できるように、行動項目 (第2階層)を機関別に整理したタイムラインである。行動目的(第1階層)を達成するための行動項目 (第2階層)が整理されているため、水位上昇速度の速い天神川において実施すべき内容が最低限チェック できる。
- 連携する機関(横のつながり)がわかるように、同じ行動項目は、同じ行に整理している。
- 組織内で会議室へ移動する際や現場対応時でも確認できるように持ち運び可能な形式で作成する。



③天神川水害タイムライン概要版 作成方法

■ 「<u>天神川水害タイムラインの全体像が見えるとよい</u>」との意見を踏まえ、総括版に記載されている各関係機関の行動項目(第2階層)をとりまとめ、行動目的(第1階層)ごとに整理しています。



③天神川水害タイムライン概要版

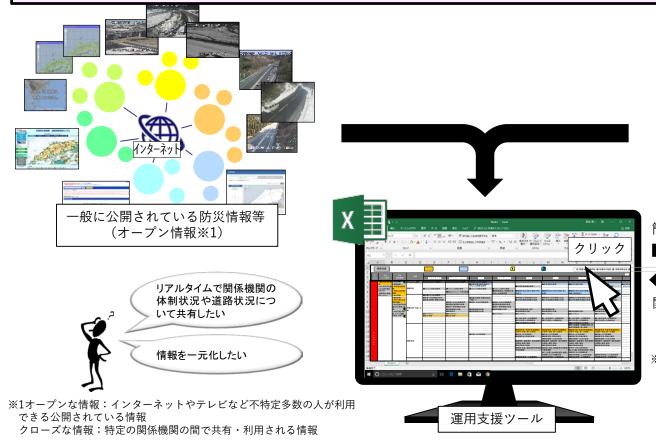
- 天神川水害タイムライン概要版は、行動項目(第2階層)を行動目的(第1階層)ごとに各タイムラインレベルで実施することが確認できる。
- 平常時などに、天神川水害タイムラインの対応の全体像を確認するときに使用できる。

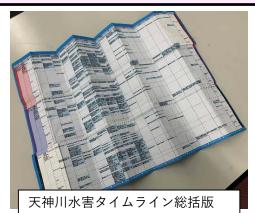
八 竹	川水害タイムライ	1ノ慨妾』								
TL ベル	主なイベント発生	主な 発表情報	タイムライン 運用	組織体制	② 配備及び動員	③ 情報収集伝達	④ 災害広報·広聴	⑤ 避難支援	⑥ 避難所開設 •運営	⑪ 要配慮者支援
	・3日後に台風が天神川	·台風情報	TLの立ち上げ							
_	流域に影響するおそれ	•気象情報		市町幹部会議の開催	機関内防災体制の確認	台風シナリオの作成	台風情報、気象情報、道路交通情 報の放送	住民への注意喚起	自主避難所の開設準備	自治体と教育機関の相互連絡 校・児童クラブ休校の検討)
TL ベル 0-1				協力業者への事前依頼		台風情報・注意報・警報の発信	現地取材情報の放送			
0 1						雨量・水位情報の発信	危険性の呼びかけ			
	・2日後に台風が天神川	・台風情報	TLのレベル移行				市町イベント中止判断			
TL	流域に影響するおそれ・気	·気象情報		市町幹部会議の開催	機関内防災体制の確認	台風シナリオの確認	台風情報、気象情報、道路交通情 報の放送	住民への注意喚起	自主避難所の開設	自治体と教育機関の相互連約 園・休校の判断)
バル 0-2				リエゾン派遣の準備 協力業者への事前依頼・防災エキス		台風情報・注意報・警報の発信	現地取材情報の放送			要配慮者の送迎
				ハート等の確認		雨量・水位情報の発信 台風説明会の開催		タイムライン	問設の準備(搬入)	0 0000000000000000000000000000000000000
	降雨の開始	·台風情報	TLのレベル移行				の流れが	確認できる		
	・内水氾濫発生の見込 み	・気象情報		災害対策本部の設置 (警戒本部、災害対策連絡室等)	機関内防災体制の確認	台風シナリオ <mark>の確認</mark>	報の放送	正氏 下07.12.9/25	歴典所の開設	臨時休校の周知
				リエゾン派遣の準備・派遣	•	台風情報・注意報・警報の発信	現地取材情報の放送		•	
TL ベル				協力業者への事前依頼		雨量・水位情報の発信・収集	危険性の呼びかけ			
1					•	被害情報・道路情報等の収集 台風説明会の開催	避難情報の報道			
				***************************************	•	被害想定	0	•	•••••••••••••••••••••••••••••	
						ホットライン				
	- 水防団待機水位の超 適 ・氾濫注意水位超過 - 内水氾濫発生のおそれ・ ・強風(風速12m/s程度) 情報)	TLのレベル移行								
		·大雨·洪水注意報		災害対策本部の設置・公表	機関内防災体制の確認	台風シナリオの確認	一般住民、被災者に対する情報提 供	住民への注意喚起		臨時休校の周知
		·洪水予報(氾濫注意	***************************************	リエゾン派遣	従業員の安全確保	台風情報・注意報・警報の発信	台風情報、気象情報、道路交通情 報の放送	自主避難者への避難所の斡旋		
TL		1月 年以		協力業者への事前依頼		雨量·水位情報の発信·収集 被害情報·道路情報·漏水·侵食情	現地取 タイムラ	ラインレベル別	川に目的別に実	施
ベル 2			•••••••			報・避難情報等の収集 ライフライン供給情報の収集	す	る行動項目を	確認できる	
					-	被害想定				
						ホットライン				
	• 避難判断水位超過	・台風情報	TLのレベル移行			洪水予報				
	・中小河川の氾濫による 浸水発生のおそれ	· 気象情報 · 大雨(浸水害· 土砂	1277	災害対策本部の設置 (警戒本部、災害対策連絡室等)	機関内防災体制の確認	台風シナリオの確認	一般住民、被災者に対する情報提供	避難準備・高齢者等避難開始の発	指定避難所・避難場所・福祉避難 所等の開設・運営	児童·生徒、要配慮者利用施 集団溶離
	·暴風域内(風速20m/s 災害)警報			(営成本部、災害対策連絡至等) リエゾン派遣	従業員の安全確保	台風情報・注意報・警報の発信	供 台風情報、気象情報、道路交通情 報の放送	令・伝達 避難者の誘導	所等の開設・連宮 所要物資の確保	集団避難 こども園等、社会福祉施設・系 旅館等における避難対策
	~_/	- 暴風警報		協力業者への事前依頼	•	雨量・水位情報の発信・収集	現地取材情報の放送	•	•	要配慮者等への情報提供

④支援ツール 運用支援ツール (試行版)

- 第1回検討会では、<u>リアルタイムで関係機関の体制状況や道路状況について共有したい</u>、<u>情報を一元化したい</u>との意見が挙げられ、第2回検討会では、<u>災害時に各関係機関が発信・収集している情報(オープン情報・クローズ情報※1)</u>を共有した。
- 一方で、オープン情報は、点在しており、天神川水害タイムラインに関わる情報はまとめて確認できない。
- 災害時に活用するタイムラインとして詳細版と総括版があり、総括版では各関係機関の行動を俯瞰的に確認することができる。 ________

タイムラインの運用を支援するために、第2回検討会で共有した情報のうち、タイムラインに関わるオープン情報を集約し、総括版と連動して確認できる運用支援ツール(試行版)※2を作成した。





簡易にアクセス

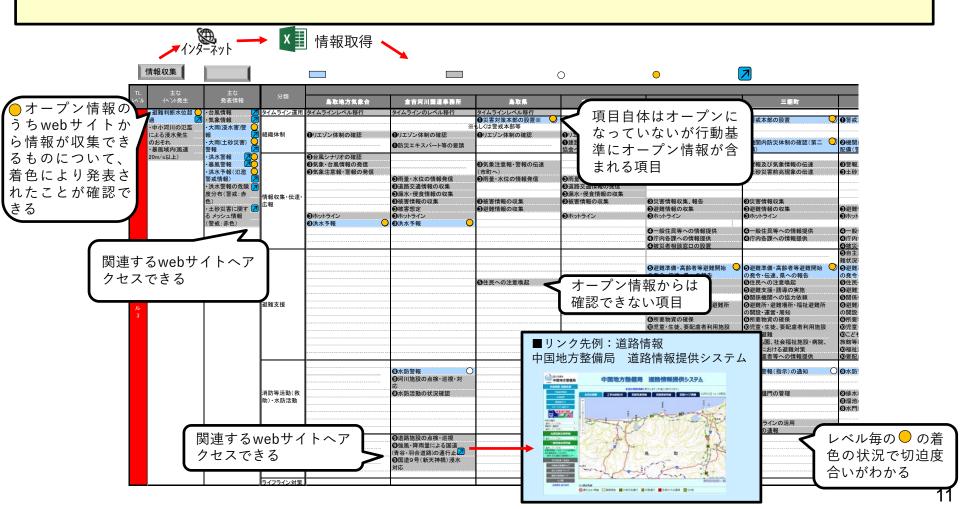


関連情報を 収集

※2現時点で確認できる情報のみを収集・確認できるように整理したツールであり、関係機関の行動やそれに関わる情報が確認できるわけではなく、あくまで支援のツールである。また、災害時に、元となるインターネットサイトが閲覧不可となった場合やリンクが切れた際には、情報を確認できなくなる場合がある。

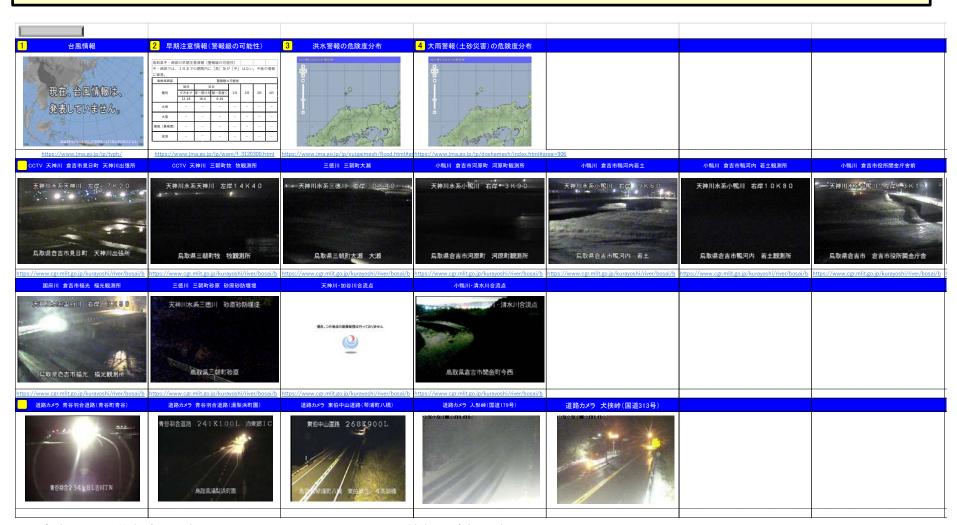
④支援ツール 運用支援ツール (試行版)

- ■オープン情報からタイムラインに関わる気象情報等が確認できる機能を設けた。
- 運用支援ツール上では確認することができない情報については、関連するwebサイトへアクセスできるリンクボタンを設けた(関係機関の担当者が普段お気に入りに登録しているような情報を運用支援ツールに集約)。
- 災害対策本部の設置状況など、公開されていないが、行動基準にオープン情報が含まれる項目については、オープン情報の発表に連動して、基準に達したことがわかる機能を設けた。



③円滑にタイムラインを運用するための運用支援ツール、災害情報図の活用方法の確認 -運用支援ツール-

■ 第2回検討会で共有した情報のうちオープン情報関係機関が普段確認していると意見が挙げられた情報 (気象情報、河川カメラ、道路カメラ等)については、webサイトでは複数の画面を表示する必要がある ため、これらを簡易に確認できるように、画像を一元的に収集する画面を設ける。



※倉吉河川国道事務所で新たに設置している河川カメラの情報も追加予定

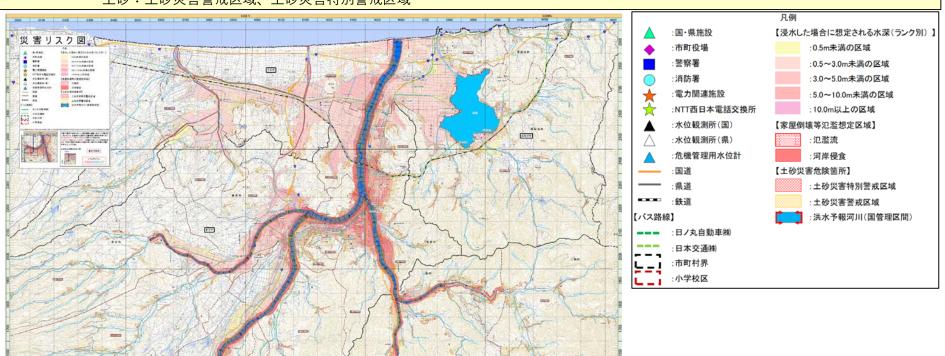
④支援ツール 天神川水害タイムラインに関する災害情報図

■ 災害時に、天神川水害タイムラインの関係機関同士で位置情報を共有する際に、共通の地図で確認できるように「天神川水害タイムラインに関する災害情報図」を作成した。平常時は、自機関に関わる災害リスクを確認できるように浸水想定区域図等も表示した。

【確認できる情報】

- 施設情報 : 天神川水害タイムラインの関係機関に関わる施設(国、県施設、市町役場、消防署、警察署、変電所、電話交換所、駅等)
- 地名、道路名
- UTM座標
- リスク情報:水害:国管理河川、県管理河川の想定最大規模の洪水浸水想定区域図※(浸水区域の表示がない河川が安全という意味ではない)

土砂:土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域



※洪水浸水想定区域は、公表されている国管理区間の「天神川・小鴨川・国府川・三徳川」、県管理区間の「橋津川水系東郷池(東郷池・橋津川・東郷川・舎人川・埴見川・羽衣石川)、 由良川水系由良川(由良川・北条川・北条川放水路・円城寺川)、天神川水系三徳川」の想定最大規模の洪水浸水想定区域を重ね合わせて、浸水区域、浸水深、家屋倒壊等氾濫想定区域の 最大を採用して作成した図面である(市町が発表しているハザードマップと同じ情報)。

⑤天神川水害タイムライン運用方法

▶ 来年度の運用に向けた運用方法などを整理した冊子として整理する。

タイムライン運用方法

天神川水害タイムライン 運用方法 (令和元年度版)

(案)

天神川水害タイムライン検討会

	運用方法(案)				
1. はじめに	これまでの経緯やタイムラインの構成について記載				
2. タイムラインの立ち上げ・ レベル移行・解除	「タイムラインの立ち上げ」、「レベルの移行」及 び「タイムラインの解除」の判断に必要な情報・状 況を記載				
3. タイムラインの活用	タイムラインへの記入方法、運用支援ツール、災害 情報図の使い方について記載				
4. メーリングリストを利用 した情報発信	メーリングリストで発信するべき内容や発信例につ いて、記載				
5. 振り返りの実施	タイムライン運用後の振り返りの実施方法について 記載				

タイムライン運用方法(案)の概要

- ▶ 天神川水害タイムラインを実施することで、災害に対する事前の対応や災害時の関係機関の動きがわかる。
- ▶一方で、天神川水害タイムラインを実施することで負担がかかる等の懸念事項が想定される。
- ▶ これまでの市町や関係機関へのヒアリング結果及び災害時の対応における検討会での意見や課題を踏まえて、 要望や懸念事項を考慮した天神川水害タイムラインの運用方法を整理した。
- 懸念事項・要望を踏まえたタイムラインの運用方法
 - □天神川は、中国地方でも有数の急流河川であり、水位上昇速度が速く、<u>市町職員や関係機関の担当者は、</u> 短時間に限られた人員で多くの対応をしなければならないため、通常の災害対応に加えてタイムラインの 判断を実施するのは困難である。
 - → <u>河川事務所が主体</u>となって、鳥取地方気象台、鳥取県と協議し(助言をもらい)、天神川水系でのタイム ラインの立ち上げやレベル移行を判断
 - □天神川だけでなく<u>複数河川のタイムラインの構成員である関係機関にとっては、メーリングリストによ</u>る情報発信は負担になる。

 - □「行政や各機関の体制をリアルタイムで知りたい」等の関係機関の状況を知りたいとの要望もある。
 - ▶ 関係機関は、<u>担当者が確認したいときに</u>、オープンになっている情報を基にして作成した<u>運用支援ツール</u> を用いて状況を確認

タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除について

- ▶台風及び前線性降雨による鳥取県への影響を考慮し、倉吉河川国道事務所が主体となって、メールにて「タ イムライン立ち上げ・レベル移行・解除しの情報提供を行う。
 - ▶ 対象事象:洪水※1
 - ▶ 運用機関:倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、警察、消防、自衛隊、ライフライン機関、公共交通機関、 報道機関、鳥取県、気象庁および国土交通省の21機関(検討会参加機関)
 - ▶ タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除の連絡者:倉吉河川国道事務所
 - ▶ 連絡方法:メール
 - ▶ 連絡内容:タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除

※1レベル移行基準には、市町地域防災計画の行動に関わる土砂災害等に関わる基準は含むが基本的には、天神川水系の国管理区間の洪水を対象とする。

鳥取地方気象台

鳥取県(県土整備部 河川課)





倉吉河川国道事務所(事務局)※2

メール配信(立ち上げ・レベル移行)

%2

天神川水害タイムライン検討会 設置要綱(抜粋) (事務局)

- 第9条 検討会の庶務を行うため、事務局を置く。
- 2 事務局は、国土交通省中国地方整備局倉吉河川 国道事務所に置く。

タイムライン検討会メンバー(全21機関)

関係機関はタイムラインレベルを確認し、各々がタイムラインの行動を実施 (タイムラインを運用による新たなメール配信等の作業はない)

タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除について

▶ タイムラインの立ち上げ・レベル移行基準は、令和元年度より運用が開始された警戒レベルを参考に設定し、タイムライン立ち上げ後は、レベル移行基準の情報が発表されたタイミングでレベル移行の連絡を行う。 (例:洪水注意報が関係市町一つ以上に発表された場合には、タイムラインレベル2への移行を連絡)。

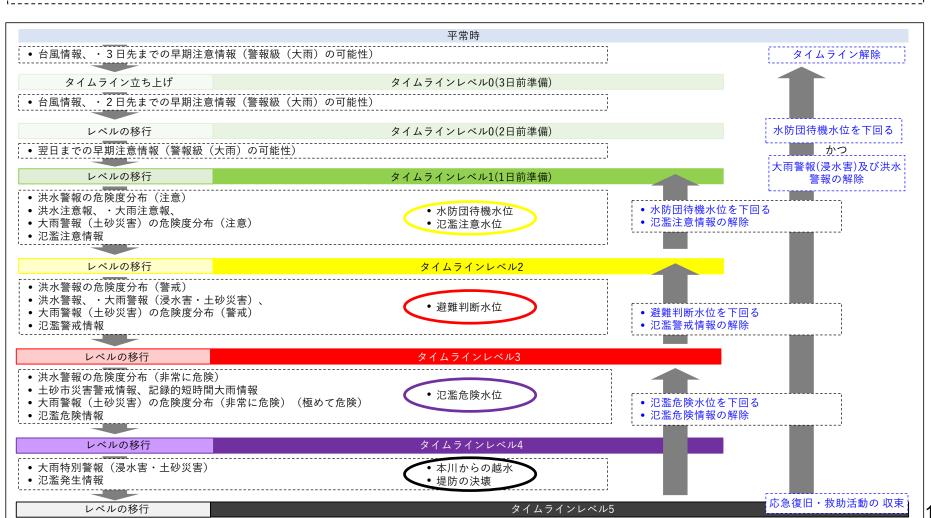
タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除の基準

タ-	イムラインレベル	タイムライン レベル0(3日前準備)	タイムライン レベル0(2日前準備)	タイムライン レベル1	タイムライン レベル2	タイムライン レベル3	タイムライン レベル4	タイムライン レベル5
	警戒 レベル	-	-	警戒レベル1相当	警戒レベル2相当	警戒レベル3相当	警戒レベル4相当	警戒レベル5相当
	状況	• 3日後に台風または前線が天神川流域に影響するおそれ	• 2日後に台風または前線が天神川流域に影響するおそれ	● 降雨の開始● 内水氾濫発生の見込み	水防団待機水位超過氾濫注意水位超過内水氾濫発生のおそれ		氾濫危険水位超過中小河川の氾濫による 浸水発生	本川からの越水堤防の決壊
	洪水	早期注意情報 (警報級の可能性) 【目安:3日後に影響】	早期注意情報 (警報級の可能性) 【目安:2日後に影響】	早期注意情報 (警報級の可能性) 【目安:1日後に影響】	洪水警報の危険度分布 (注意:黄色)洪水注意報大雨注意報		洪水警報の危険度分布 (非常に危険:薄い紫色)	• 大雨特別警報(浸水害)
気象 情報	土砂				大雨警報(土砂災害) の危険度分布(注意: 黄色)	大雨警報(土砂災害)大雨警報(土砂災害) の危険度分布(警戒: 赤色)	土砂災害警戒情報大雨警報(土砂災害) の危険度分布(非常に危険:薄い紫色)、(極めて危険:濃い紫色)	• 大雨特別警報 (土砂災害)
	その他				• 強風注意報	● 暴風警報	• 記録的短時間大雨情報	
	洪水予報				• 氾濫注意情報	• 氾濫警戒情報	• 氾濫危険情報	• 氾濫発生情報 • 災害発生情報
	水防警報				• 水防警報(準備・待機・出動)			
	避難情報					避難準備・高齢者等避 難開始	• 避難勧告 • 避難指示(緊急)	

赤字:レベル移行の判断に利用する情報(水位の状況や洪水予報は直轄管理河川の天神川・小鴨川・国府川・三徳川の観測所)、黒字:レベルに該当する状況情報 (天神川水害タイムラインでは、国管理の天神川・小鴨川・国府川・三徳川の対応を基本とするが、市町の地域防災計画の行動と天神川水害タイムラインのタイミングに 齟齬が無いように土砂災害等に関わる情報も基準とする)

タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除について

- > タイムラインの運用期間は、タイムラインの立ち上げから、直轄管理河川の天神川・小鴨川・国府川・三徳川のすべての基準水位観測所で水防団待機水位を下回り、かつ大雨警報(浸水害)及び洪水警報が解除されるまでとする。
- ▶ 運用期間:立ち上げ(台風または前線性に伴う降雨が天神川へ影響するおそれ)から、天神川・小鴨川・国府川・三徳川のすべての基準水位観測所で水防団待機水位を下回り、かつ大雨警報(浸水害)及び洪水警報が解除されるまで



メーリングリストを利用した情報発信

■天神川水害タイムラインの情報共有方法

天神川水害タイムライン検討会の参加機関を対象に、担当者または各機関の防災責任者等のメーリングリスト (一覧表)を作成し、BCCによりメールを発信する。

⇒別途、事務局によりメーリングリストとして整理する担当者・連絡先を確認します。

■メーリングリストに発信するメール文(案)

関係機関へは、状況に応じ、①タイムラインの立ち上げ、②タイムラインレベルの移行、③タイムラインの解除の3種類のメールを発信する。

メーリングリストに発信するメール文案

	①タイムライン立ち上げ	②タイムライ	ンレベル移行	③タイムラインの解除について					
4	【重要】天神川水害タイムライン 3	【天神川水害タイムライン】 レベルの移行について(レベル○)	【天神川水害タイムライン】 レベルの移行(引き下げ)について (レベル○)	【天神川水害タイムライン】 タイムラインの解除について					
	天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位	天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位	天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位	天神川水害タイムライン検討会 メンバー 各位					
クーノブ第	天神川水害タイムライン事務局より、以下のとおりお知らせします。 ■現状について 台風○号は、現在○○付近に位置しており、尚も北上中です。 ■今後の気象情報等について ○日には、天神川流域に最接近することが予想されます。 天神川流域では、○日の早朝から猛烈な雨と風が予想されており厳重な警戒が必要です。 ■タイムラインレベルについて 台風経路や今後の気象情報等から、○	た天神川水害タイムライン内部会議の調整結果を情報共有します。 ■現状について ○時○分に、倉吉市の○○川○○水位的測所で○○○水位○mに到達しました。 ■タイムラインレベルについて 気象情報、河川水位の状況等から、○月○日(○)○時現在 レベル○とします。 ※今後、最新の警報・注意報・気象情報に十分留意してください	た天神川水害タイムライン内部会議の調整結果を情報共有します。 ■現状について ○時○分に天神川、小鴨川、国府川、三徳川のすべての基準水位観測所で ○水位を下回りました。 ■タイムラインレベルについて 河川水位の状況から、○月○日 (○)○時現在 レベル○(引き下げ)とします。 ※引き続き、最新の警報・注意報・	いたすべての大雨警報(浸水害)、 洪水警報が解除され、天神川の水 位はすべての基準水位観測所で水 防団待機水位を下回っているため、 本メールをもってタイムラインを 解除します。 タイムラインは解除されますが、 各関係機関で対応中または対応す べき行動がある場合は引き続き対					
	月〇日(〇) ○時現在 レベル0 (3 日前準備) とします。								